



第1501回例会 会報

1989 (平成1.4.4) 天候 晴

会長 市川輝雄 幹事 若生恒吉
 クラブ奉仕 佐藤 昇

職業奉仕 佐藤 衛 社会奉仕 迎田 稔
 国際奉仕 松田士郎 青少年奉仕 碓水節雄

出席報告: 会員 88 名 出席 66 名

出席率 78.38% 前回出席率 64.86%
 修正出席 60名 確定出席率 74.32%

ロータリーに活力を
 あなたの活力を
 PUT LIFE INTO ROTARY-
 YOUR LIFE

会長報告

市川輝雄君

- 北国の春は、桃、梅、桜と続けざまに咲きます。湯田川の梅林は今が見頃だそうです。土曜日あたり急に風が出ました。春になって最初に吹く強い南寄りの風を春一番と云います。ついで梅の咲く前頃に春二番が吹き、春四番もあるそうです。本格的な春の到来に先立ってそれまで満を持していた春の気配が荒々しく吹きまくるのが春の嵐であります。この頃、菓子屋の店先には、彩りよく桜餅や、鶯餅がならび、街には、春休みの子供達が学年が終了したという安堵感、解放感から、のびのびとした姿をみせます。もっとも一円を笑っていた商人にとっては、一円に泣かされる消費税の春でもあります……。
- さて先週めでたく1500回の例会を迎え、「継続は力なり」などと申しましたが、ただ存続するだけでは意味がなく、30年もすれば、そこになんらかの個性がにじみ出なければならぬと思います。丁度絵画の世界において、名だたる画家の作品にはおのづからなる作風というかオリジナリティがあって人々の心を捉えて離さないように。長ければよいという時代は終わりました。30周年記念行事の基本方針にもありますように、これを機会に鶴岡RCのアイデンティティーつまり存在価値を

強く一般社会にアピールする必要があるかと存じます。これに関して皆様のご意見をお寄せください。

- 30日、東京第一ホテル鶴岡の鳳凰の間落成披露に招かれましたが、地方にはまれな広さと設備の豪華さに目をみはりました。30周年式典には、ご来客に対し、十分なおもてなしが出来そうな予感が致します。どうぞご期待下さい。本日の第10回理事会において次の事項が審議されました。
- ソウル国際大会参加者に対する補助金について、当クラブより8名参加が予定されていますが遠隔地にクラブを代表されて出席する訳ですので、登録料85ドルをクラブで負担することとしました。その分大いに勉強してきて後で発表をお願いします。
- 新会員の委員会所属について
 転勤で退会された方の後任の方が大部分ですので前任者の委員会(クラブ、30周年共)に所属してもらいたいと存じます。

幹事報告

若生恒吉君

- べにばな国体県民運動推進協議会より
 協議会設立のご案内。当クラブも協議会の一員であります。

ロータリアン日記 ○月○日

「ふと考えた。」

近年「soft」という言葉が本来の意味をはみ出し、使われている。これはコンピューターのハードウェアとソフトウェアから始まって、「利用技術」と訳されている言葉であることは誰でも知っている。流行りに乗って、この言葉を拡大解釈してみると極めて興味深い考えが浮び上がってくる。ハードに対するソフトというものは単に機械に止まらず、形あるもの全てに当てはまる様に思うのである。渡り鳥の「渡り」のソフト、植物は一体如何なるソフトウェアで春咲き物、夏、秋、朝、昼、夕、といった様に違うのか。鳥や動物は「本能」によって行動するとされるが、万物を動かしているソフトウェアは一体誰が考えたのか、考えてみると不思議である。

私は、ワンパターンの生活の中で、たまに祭日とか、日曜日で予定のない時、よく独り言をいう。「はて、今日のソフトは…」

人は自分の考えで生きていると思っている。しかし私は疑わしいと思う事がよくある。「明日のことは分らない」東洋人は唇を作り運命を考え、血液型によって性格を考え、「星占い」とかも若い女性に人気がある。人間の本质は「不安」ではないだろうか。不確定要素が余りにも多いのだ。

コンピューターを動かすプログラム等、極めて次元の低いものである。我々は、コンピューターを過信するあまり、人間の考えよりコンピューターの結果を信用する事はないのか。不確定要素があればこそ人類は進歩して来たというのに。

(平成元年3.5)

石井敬三

- ポリオ・プラス委員会より
ポリオのパンフレット到着。
以上回覧中
- 例会変更のお知らせ
 - 鶴岡東 R C 鶴岡 R C 30周年記念式典の為
日 時 4月22日(土) 11時点鐘
場 所 東京第一ホテル鶴岡
- 30周年記念式典の参加の件
役員理事の方々は婦人同伴を義務とします。
皆様もこの機会に奥様同伴をお願い申し上げます

会員スピーチ

— 千葉大学附属養護学校の生活 —

嶺岸 禮三君

一年前の、今日4月4日、私は、富士印刷に入社しました。鶴岡に来て丁度一年が過ぎました。鶴岡に引越すにあたって一番心配だったのは、仕事のことよりはむしろ天候のことでした。これまで三十数年間ずっと太平洋側で生活して来ましたが、日本海の冬というものがあるものなのか気が掛りでした。毎朝、家と会社の雪かき、吹雪く時は、視界が全く利かない。雪は空からではなく、地面から降ってくる。ひと冬に何度も屋根の雪降ろしをしなくてはならない。などと脅かされ、それなりの覚悟をしてやって参りました。ところが期待(?)に反して、今年は、一度も地吹雪を経験しないまま春を迎えることになりそうです。ホッとすると半面、肩透かしを受けたような気持です。この暖冬傾向が良いのか悪いのかわかりませんが、来期の冬は2年間の反動で大雪ということにならないことを願っています。

さて本日は、昨年まで勤務しておりました千葉大学附属養護学校の紹介をさせて頂きたいと思えます。本校は、昭和40年、千葉大学附属小学校に知恵遅れの子供のための特殊学級が開設され、43年には附属中学校にも同様に特殊学級が開設し、48年それぞれ、小、中から独立し、高等部を加えて千葉大学附属養護学校が創立されました。57年までは、西千葉駅前の大学キャンパス内にありましたが、この年、校舎が手狭まになったので、現在の長沼原に移転致しました。ここは、千葉市の北のはずれ、八千代市と接する所で、ピーナッツ畑と牧場の点在する、いかにも千葉の田舎らしい所でした。そのため非常に交通の便が悪く、通学する子供たちは大変です。スクールバスはあるのですが、これを利用できるのは小学部の児童だけ

- す。特に単身赴任者は是非鶴岡の桜を奥様に見せて同伴して式典に参加して下さい。
- 第四回クラブ協議会のご案内
第2例会終了後、産業会館第1会議室で1時30分より3時30分まで開催致します。委員長欠席の場合は代理の方の出席をお願い致します。
- 新会員の氏名公表
松永輝夫さん 日本生命保険(相) 荘内地域担当支社長。職業分類は生命保険です。

です。中、高の生徒は電車、バスを使って自主登校しています。バスは1時間に1~2本、バス停から学校まで歩いて20分かかります。たしかに不便で、天気の悪い時などはたいへんですが、この不便さの中で生徒たちは、自力通学できる力を身に付けていき、社会に出てから大変役にたっているなど感じています。

小学部21名、中学部21名、高等部30名、教職員28名、全員合せて丁度100名の学校です。千葉大学附属養護学校は、指導法として、「生活単元学習」を中心に教育を行っている学校で、全国的に知られています。公開研究会には、毎年500人以上の教員が全国から研修にやってきます。

私が、この学校に着任したのは、58年で1年目は、一番小さな子供たち、小学部の下学年を担当しました。障害も様々で、個性豊かな子供たちです。ほっておくと一人一人が好きな所へ飛んで行ってしまいます。この子たちとひとつのことを作り上げて行くことは大変根気のいる仕事です。

2年目から退職する昨年までは、高等部で主に、作業学習と進路指導の仕事をしました。この二つは、高等部生活の柱になっているものです。「働く力を身につけ、自立する」ことが、高等部のねらいであり、毎日の作業も、進路指導の一環として、実際の事業所で働く「校外実習」(職場実習)も、このねらいによって行われています。わたしは、高等部にいる間、木工班で主に「植木鉢カバー」を制作し、年間86万円の売上を記録したことがあります。作業学習が決して売上高で評価される訳はないのですが、この数字に込められた生徒たちの頑張り、大いにほめてあげられるものでした。なんとか100万円の売上をと頑張りましたが、

いつもあと一步及ばず、生徒たちと学年末には残念会をしたものです。本校は、「子供が出来ないのは、出来る状況を作っていない教師の責任」といつもいっている学校です。年2回学校内の研究会でいつも厳しい指導を受け、そういう意味では非常に厳しい学校でした。

昨年、テレビで、鶴岡市に高等養護学校の生徒の職場実習を受入れる事業所の組織ができたというニュースを見ました。これは、大変すばらしいことだと思います。千葉県の場合、市川市、船橋市の公共職業安定所が中心になり、事業所、安定所、学校が協力体制をとって、生徒の職場実習から就職まで一貫した指導を行っています。残念ながら千葉市の場合、そういう体制ができておらず、生徒の進路指導はもっぱら教師の手に委ねられているのが現実です。そういう意味で、進路指導の多くの部分は、職場開拓に当てられます。その方法はといいますと、色々あるのですが、最も効率の良かったのは、新聞広告の求人折込を利用することでした。求人広告が入っていたら、必ず生徒に持ってこさせ、これはと思う会社に電話して職場実習の依頼をします。うるさがわれ、邪険に断られるのを覚悟して行くのですが、意外なほど良くこちらの話を聞いてくれます。最も望ましいケースは、1年の職場実習から、3年間、年2回の実習を同じ職場で行い、本人、ご両親、会社、学校がそれぞれ納得の上で就職することです。しかし、実際には、四者が合意に達するということが難しいのが現実です。本人、会社、学校がよしと思っても、親御さんが断るということもあります。事業所でも実習までならいいのですが、いざ就職となるとなかなか首を縦に振ってくれなくなります。そのことは、今、立場が逆になってよくわかることなのです。それだけに生徒をこれまで採用してくれた事業所の方には、本当に感謝しています。54年養護学校が義務化され、これまで自宅にいた子供たちにも教育の場が保証されることになりました。この頃から障害の重度化という傾向が強くなり、高等部卒業で就職できる生徒は2割から3割と言われています。本校での就職率は、ここ数年平均で8割以上だと記憶しています。特別他の養護学校より程度が高いと言う訳ではありません。やはり全職員の結束による指導体制と熱意によるのかなと今思っています。

今日はこんな硬い話ではなく、だれだれちゃんが、帰宅途中でいなくなり、全職員が探し回り、夜中の2時に銚子で発見され車で迎えに行ったこととか、朝日佐倉マラソンで生徒と42.195キロを

走ったこと、私が音戸を取らせて頂いた第1回の養護学校駅伝大会のことなどを話したかったのですが、原稿を書き出したらこんな具合になってしまいました。失礼致しました。

委員会報告

ローターアクト委員会

委員長 高田 耕助 君

7日6時より中国飯店にて、「ローターアクトクラブ会員候補者とローターアクトクラブOBとの語る会」を開催します。平成元年又30周年等記念すべき年でもあり、是非共ローターアクトクラブを再発足したいということで企画致しました。再考の上、会員候補者を推薦下さいまして、ご参加下さいますようお願い致します。

30周年祝賀委員会

委員長 三井 健 君

現在、参加人数の予定は、290名近くになっています。ただし、これは奥様方を含めていない数です。当日は、是非奥様方のご出席をお願いし、最低でも50名程度、全員参加を期待しております。先般のIGFの様にお給仕をさせるということではなく、テーブルに付いて頂き、テーブルでの接待をお願いしたい。この際、単身赴任の方も奥様をお呼び頂き、ご出席をお願い致します。

6日、東京第一ホテルにおきまして、会費6,000円で試食会を催したいと思っておりますので、祝賀委員会の方はご出席をお願い致します。接待委員会からの申し出がありまして、次の祝賀委員会の方は、当日、9:30~11:00まで接待委員会（委員長 山口篤之助君、副委員長 布施隆夫君）の手伝いをお願いしたいと思います。

石川一男君、忠鉢 徹君、来海憲宣君、村上龍男君、阿部 貢君、三浦恒祺君、秋元順雄君、矢口良行君、奥野洋一君。

30周年接待委員会

委員長 山口 篤之助 君

祝賀委員長さんが先般の例会で発表された通り、台中港区並びに鹿児島西クラブのお客様40名をお迎えして、前夜祭を催しますので是非大勢の方のご参加をお願い致します。（登録料 4,000円）

スマイル

- 齊藤 昭君 30周年記念行事に台中港区から32名(内ご婦人13名)、鹿児島西から7名(婦人同伴1名)出席が決定、姉妹クラブ委員長として御礼。
- 滝 禅源君(立川RC)
松澤 圭一君 4月1日JTB鶴岡支店新装開店致しました。地域の皆様に御愛顧頂けるよう、JRコーナー、個人の総合旅行、ハネムーンコーナーという形になり、今後共宜敷。
- 張 紹淵君 私の先生は、日本で初めて輸血をした正田博士。昭和20年4月23日、私がこの地を踏んで以来ずっとお世話になりありがとうございます。
- 阿蘇 司朗君 3月30日、東京で全国優秀販売店の表彰があり、東北で33店の内の1店に選ばれ、庄内の御力添えに感謝。
- 鈴木 茂男君 佐々木方丈様よりご注文の水子観音が、お蔭様で無事完成。娘に子供ができ、孫も合計4人になりました。
- 吉野 勲君
- 荒井 宏明君 阿蘇君と中澤君から頂いた入学祈願絵馬のお陰をもちまして長男が、鶴岡南高校に入学しました。
- 佐藤 衛君 昨日娘の入社式で昼のNHKさんのテレビに緊張した娘の顔が放映されました。長男が、甲状腺ホルモンの研究で博士号を頂き、この4月から東大の医学部へ出向し、基礎医学の勉強を続けています。

出席委員会

年間皆勤席

26年間皆出席	石 黒 慶之助
24年間皆出席	佐 藤 忠
17年間皆出席	佐 藤 順 治
15年間皆出席	佐 藤 衛
6年間皆出席	佐々木 喆 彦

齋 藤 昭
3年間皆出席 碓 氷 節 雄

3月100%以上出席 3名
133%…藤川、市川、若生

3月100%出席 48名
阿蘇、布施、秋野(昭)、石川(寿)、石黒、板垣(俊)、板垣(広)、飯野、風間、三井(賢)、毛呂、迎田、松田、村中、中江、中沢、佐藤(忠)、佐藤(順)、佐藤(衛)、佐藤(友)、新穂、荘司、鈴木(弥)、佐古田、庄司、佐々木、鈴木(肇)、齋藤(昭)、高橋、丹下、三浦(勉)、笹原(信)、塚原、忠鉢、上野、碓氷、吉野、日向、阿部(貢)、富田(利)、阿部(信)、三浦(恒)、秋元、嶺岸、園部、村上、奥野、矢口

親睦委員会

4月会員誕生

日向 一男君 ・ 村中 文章君
新穂 光一郎君 ・ 阿蘇 司朗君
奥 様 誕生
鈴木 美枝様 ・ 笹原 郁子様
中江 道子様 ・ 市川 芳子様
石川 貴美子様 ・ 三浦 涼子様

ピジター

本間 儀左エ門(温 海R.C.)
滝 禅源(立川R.C.)
佐藤 憲(鶴岡東R.C.)
大滝 良三(鶴岡東R.C.)

次期会長報告

高橋良士君

早々と次年度のテーマが決定いたしました。「ロータリーを楽しもう。エンジョイ ロータリー」非常に簡潔でございます。しかし乍ら、この簡潔な言葉の裏には深淵な、フィロソフィーがありますので、個々のメンバーの方でよく考えて頂きたいと思っております。フェニックスで国際協議会がありますが、このテーマのターゲットについては、ガバナーから説明があるようです。